

学年	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
5年	8	文章	変更 補足	資料ア「世界地図を読み取る」のあとに、次の文章を追加した。 「○ページの世界地図を読み取って、一緒に考えてみよう。」 ※○には点字教科書の該当ページが入る。	理解のしやすさ
	8	文章	変更 補足	「ウ. 地球儀を読み取る」のあとに、「地球儀を使って、読み取りながら一緒に考えてみましょう。」の文を加えた。	理解のしやすさ
	10-11	やってみよう	変更	「やってみようの『作業② 地球儀の上をなぞって…』は、(教科書)○ページの地図をなぞって…」と変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	10-11	地図	変更	掲載の世界地図を次の通りとした。 世界地図は6大陸3大洋を示す。ただし教科書の空欄は活かし、番号を振る。 地図の後のページに、教科書に掲載した国を大陸ごとに50音順でリスト化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	10-13	写真	削除 変更	この4ページにわたる写真は、「ワールドツアー」に関係する内容であるため、まとめて表にした。タイトルとして「外国の世界遺産や、名所・名物」とした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	12	学びの てびき	変更補 足	②折りに、線を書き入れる を「折りに、線や切れ目を入れる」とした。	理解のしやすさ 指導者による補足
	13	図	変更	資料キの「地球上の位置の表し方」については、先に説明を加えた上で、必要な箇所（説明がある箇所）のみ図示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	14	つむぎ	削除	「日本の東西南北の端を線で結べば…」の「線を」を削除した。	理解のしやすさ
	14～15	地図	変更補 足	資料ア「日本の国土とそのまわり」は点図化した。 また国旗は原典掲載のうち日本、ロシア、モンゴル、北朝鮮、フィリピンの4カ国の国旗を点図化した。	理解のしやすさ
	14	やってみよう	変更	次のように文を変更した。 「日本のはん囲はどこまでか、アの日本の周りをなぞって考えてみよう。」	理解のしやすさ 触覚による把握
16	資料	変更	資料ア「領土と排他的経済水域の違い」は、データを数表化した。	理解のしやすさ	

5年	16	地図	変更	資料イ「日本の領土、領海、排他的経済水域」は、点図化した。	触覚による把握と理解のしやすさから、竹島や尖閣諸島等は省略したが、領土や排他的経済水域と密接な関係があることから、十分留意して指導に当たりたい。
	17	写真	変更 削除	資料ウ「外国との国境に近い島々」は、写真を削除し、それぞれの場所ごとの文のみにした。	理解のしやすさ
	18	地図	変更	資料ア「竹島とその周辺」では、韓国と中国四国地方全体が入る地図で、竹島の位置を示す。 竹島周辺の地図は次の文に変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「竹島は西側に男島（西島）、東側に女島（東島）の二つの島から成り立っています。」</div>	理解のしやすさ 触覚による把握
	18	地図	変更	資料ウ「尖閣諸島とその周辺」は、原典の全体が入る地図で、尖閣諸島の位置を示す。 尖閣諸島周辺の地図は次の文に変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「尖閣諸島は、南小島、北小島、魚釣島、久場島、大正島と、沖ノ北岩、沖ノ南岩、飛瀬から成り立っています。」</div>	理解のしやすさ 触覚による把握
	19	まとめ る	変更	セリフの空欄にア. ～サ. の記号をつけた。 その上で、先生のコメントを「・上のア. ～サ. にあてはまる…」とし、また二つめについて、「…ノートに書き出してみましよう。」とした。	理解のしやすさ
	20	ミゲル	変更	写真を見たセリフの部分で、「同じ3月なのに、様子が違うようだね。」とした	理解のしやすさ
	20	地図	変更	資料キ「小笠原諸島、知床、奥日光の位置」はそれぞれの場所がわかるように点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（北方領土、竹島、尖閣諸島等）
	20-21	グラフ	変更	資料ウ「小笠原諸島と知床の気温」・資料カ「知床と奥日光の気温」はそれぞれグラフで示した。知床と奥日光の判別について、補足が必要となる。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	20-21	地図	変更	資料カ「桜が咲く時期のちがいは開花時期がはっきりわかるよう点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（北方領土、竹島、尖閣諸島等）

5年	20-21	地図	変更 削除	「地図」は、すべてに地名を書き入れる。標高については、色分け等の部分は削除し、奥日光と知床の数値のみ示した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（竹島と尖閣諸島）				
	22-23	図	変更 削除	資料ア「さまざまな地形の様子」は、図を削除し、次の順番でキャプションの説明のみ掲載した。 「高地」山脈, 山地, 湖 「低地」盆地, 台地, 平野, 川, 湾	理解のしやすさ 触覚による把握				
	24-25	地図	変更	「気温と降水量のグラフを示した6カ所の位置」は、地図を削除し、資料番号ウ.～ケ.の順にリストにして示した。	理解のしやすさ				
	24-25	グラフ	変更	「気温と降水量のグラフ」は、資料ウ～ケの順に掲載した。	理解のしやすさ 触覚による把握				
	25	図	変更	資料ス「台風の進路」は、月ごとの代表的な進路に絞って掲載した。	理解のしやすさ				
	25	絵図	変更	資料ス「夏の季節風」と「ス. 冬の季節風」は、模式的な断面図としてそれぞれ掲載した。	理解のしやすさ 触覚による把握				
	26-27	まとめる	変更	タイトルを「日本の気候や地形の特色を、地図に表そう」とした。以下、本ページでは「白地図」の表記は「地図」と基本的に変更した。	理解のしやすさ 触覚による把握				
	26	やってみよう	変更 追加	「活動」の一部を次のように変更した。なお、本頁では「ふせん」→「紙」に置き換えている。 <table border="1" data-bbox="555 1317 1102 1429"> <tr> <td>1</td> <td>マーカーなどで線を引こう→地図に表そう</td> </tr> <tr> <td>2～4</td> <td>付箋に→紙に</td> </tr> </table>	1	マーカーなどで線を引こう→地図に表そう	2～4	付箋に→紙に	理解のしやすさ 指導者による補足
	1	マーカーなどで線を引こう→地図に表そう							
	2～4	付箋に→紙に							
28-29	資料	変更	あたたかい地域と寒い地域、高地と低地の差が構造的に比較できるように、項目名と特徴、写真を構造化して整理した。	理解のしやすさ 指導者による補足					
29	地図	変更	資料キは、4カ所の位置を示す地図は、四カ所の相対的な位置関係がわかるように点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（北方領土、竹島、尖閣諸島等）					
30-31	資料	変更	資料オ「野辺山原と佐原北部の標高」は、図を削除し、次のように文に直した。 <table border="1" data-bbox="555 1861 1102 1973"> <tr> <td>「佐原北部はほぼ標高0m、野辺山原の標高は約1500mあります。」</td> </tr> </table>	「佐原北部はほぼ標高0m、野辺山原の標高は約1500mあります。」	理解のしやすさ				
「佐原北部はほぼ標高0m、野辺山原の標高は約1500mあります。」									

5年	32-33	地図	変更	資料ア「沖縄県の島々」は、全体像が理解しやすいように点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	32-33	表	変更	資料オ「沖縄県の行事カレンダー（2019年）」は、月ごとの出来事がわかるように表で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	32-33	グラフ	変更	資料ク「沖縄県に来た観光客の数」は、グラフ化した。	理解のしやすさ
	34-35	グラフ	削除 変更	資料ウ「沖縄県の主な農産物の作付面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	34-35	絵 グラフ	削除 変更	資料エ「沖縄県で多く生産されている農産物や水産物」は、絵は削除し、グラフの数値を一部数表化した。触ってわかりやすい物については、一部グラフ化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	34-35	グラフ	削除 変更	資料キ「東京都の市場に出荷された、小菊の数」は、月ごとに、沖縄県産とその他の数を数値化して示した。	理解のしやすさ
	36-37	グラフ	削除 変更	資料カ「地方ごとの、台風が近づいた回数」は数表化して示した。	理解のしやすさ
	36-37	地図	変更 削除 補足	資料キ「沖縄島周辺の土地利用の様子と、水不足に備える施設」は、地図化した。 なお、地下ダムとダムは同じものとして扱った。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	38-39	地図	変更 削除	資料ア「野辺山原の位置」は、三つの山の山頂の印と1000mと1600mの等高線のみ入れ、三つの山の標高は図の説明に記した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	38-39	表	変更 削除	資料カ「野辺山原のレタス作りカレンダー」は、「月ごとの平均気温」と、「項目別に時期を示すもの」で構成した表にする。	理解のしやすさ 触覚による把握
	38-39	グラフ	削除 変更	資料ウ「野辺山原（南牧村）の主な農作物の作付面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	38-39	グラフ	削除 変更	資料キ「東京都の市場に出荷された、レタスの量」は、全体の数と長野県産の数を抽出し、数表化した。	理解のしやすさ
	40-41	地図	変更	資料ア「野辺山原の土地利用」は、森林と住宅をわけ、その他は一つとして扱い、掲載箇所を絞った形で点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	42-43	グラフ	削除 変更	資料オ「野辺山原をおとずれた観光客の数」は、数表化した。	理解のしやすさ
	42-43	年表	変更	資料ウ「野辺山原の開拓の歩み」は和暦を省略する形で年表化した。	理解のしやすさ

5年	46-47	地図	変更	資料エ「北海道」（地図）は、掲載場所の情報を図上に示す形で点図化した。気温は別表に示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	46-47	グラフ	変更	資料オ「北海道にきた観光客の数」は数表化した。	理解のしやすさ
	46-47	地図	変更 削除	資料ケ「世界自然遺産やラムサール条約の登録地」は、地図を削除し、地名を50音順にリスト化し、場所ごとに市町村名を記した。	理解のしやすさ
	48-49	地図	変更	資料キ「北海道の周りの海」は点図化し、海流の動きがわかるようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	48-49	グラフ	削除 変更	資料ウ「北海道の主な農産物の作付面積」は、数表化した。	理解のしやすさ
	48-49	絵 グラフ	削除 変更	資料エ「北海道の各地で多く生産されている農産物や水産物」は、絵は削除し、グラフの数値を数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	50-51	グラフ	変更	資料ウ「各地の1年間にふる雪の量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	50-51	絵	変更 削除 補足	資料オ「寒さに備えた家のつくり」は、「資料」として扱い、次の順に記述した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア. 家の土台は… イ. 二重の玄関にする ウ. 空気を入れ換える…（家の壁についている） エ. 壁やゆかに断熱材を… オ. 二重の窓にする カ. 水道の水抜き栓をつくり、土の凍らない深さ おおよそ1mより下にひく キ. ストープから管を引き、家の外の灯油タンクにつなぐ ク. 雪が落ちやすいように、かたむきの急な屋根にする ケ. 屋根でとけた雪は、くぼんだ溝から排水される コ. 雪が落ちやすいようにかたむきの急な屋根にする サ. 屋根でとけた雪はくぼんだ溝から排水される</p> </div>	理解のしやすさ
	52-53	地図	変更 削除	資料イ「佐原北部の位置」については、茨城県と千葉県との県境部周辺を強調して地図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
52-53	図	変更	資料ウ「佐原北部の地形」の図は、堤防と盛り土の関係がわかるように図示した。田畑と住宅・森林の2種類のみに分け、また利根川、横利根川、常陸利根川と霞ヶ浦のみ記載した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足	

5年	52-53	グラフ	変更 削除	資料ク「千葉県の市町村別の米の生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	52-53	地図	変更	資料カ「佐原北部の米作りカレンダー」は、表で示した。	触覚による把握
	54-55	年表	変更	資料カ「佐原北部の治水の歩み」は西暦のみの表で示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	56-57	地図	変更	資料エ「佐原北部の土地利用」は、点図化した。なお、田畑と住宅・森林の2種類のみに分け、また利根川、横利根川、常陸利根川と霞ヶ浦のみ記載した。	触覚による把握
	58-59	地図	変更 削除	資料ア「アイヌの人たちが暮らしていた範囲」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>アイヌの人たちは、現在の北海道と、樺太（サハリン）の南側、千島列島（クリル）にくらしていました。</p> </div>	理解のしやすさ
	60	やってみよう	変更	次のように表現を変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>アの食料の産地を、イの地図と表で確かめよう。</p> </div>	理解のしやすさ 活動の変更
	61	地図 絵	削除 変更	資料イ「主な食料の産地の地図」は、土地利用のようすのみ点図化した。土地利用のようすは、「田」、「畑・牧草地」の2枚の点図に分け、「果樹園」「その他」は省略した。主な食料の産地は、食料ごとに産地の都道府県名を列挙した。（都道府県名は県番号順）	理解のしやすさ 触覚による把握
	61	グラフ	変更	資料ウ「日本の耕地の面積」は数表化した。	理解のしやすさ
	62	絵	変更	資料エ「みんなが気づいたことを整理した例」は、「白地図」を「地図」に変更した。 カードの記述は、番号を付加して、箇条書きにした。	理解のしやすさ
	66	学びの てびき	変更	活動内容、表現を変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
66	本文	変更	次のように表現を変更した。 「調べたことを白地図に表すと」→「地図で確かめると」	理解のしやすさ 活動の変更	

5年	67	地図	削除 変更	資料ウ「都道府県別の米の生産量」は、点図化及び数表化した。 点図「都道府県別の米の生産量」 表「30万トン以上生産している都道府県及び最も多く生産されている米の品種」（生産量の多い順）	理解のしやすさ 触覚による把握
5年	68	地図	変更	資料ウ「新潟県南魚沼市の位置と土地利用」は、それぞれ「新潟県南魚沼市の位置」, 「南魚沼市の土地利用」とし、点図化した。 土地利用図は、JR, 市役所, 川, 田を点図化し, 住宅, 森林は省略した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	68	グラフ	変更	資料エ「南魚沼市周辺の気温と降水量」は点図化した。	触覚による把握
	68	グラフ	変更	資料オ「暑い時期の南魚沼市周辺と東京都心の気温」は数表化した。	理解のしやすさ
	70	活動	変更 補足 追加	「ふせん」を削除した。また、図は、分かりやすく変更したうえで、簡条書きにした。	理解のしやすさ 指導者による補足（実態合わせて、整理の仕方を工夫する）
	70	ノート	変更	「写真や図を見る」を「様子が分かるものを探す」に変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
	70-71	写真	補足	資料ア～ウにかっこ内の説明を加えた。 ア. 土にまく肥料の準備（トラクター） イ. 水田に植える稲の苗の準備（田植え機） ウ. 実った稲をかり取る作業（コンバイン）	理解のしやすさ
	72-73	図	変更	「一年間の米づくりカレンダー」は表にした。	理解のしやすさ
	73	写真	補足	資料オ「除草」の説明に, 「除草機で」を追加した。	理解のしやすさ
5年	75	図	変更	資料カ「化学肥料にたよらない米づくり」は、点図化した。	触覚による把握
	75	図	変更	資料ク「かもの役割」は、文章のみを簡条書きにした。	理解のしやすさ
	76	やってみよう	変更	「それぞれの矢印をなぞり」を「資料から」に変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
	76	図	変更 補足	資料ア「カントリーエレベーターのしくみ」は、次のように文章化した。	理解のしやすさ

				<p>収穫したもみをトラックでカントリーエレベーターに運んでいきます。カントリーエレベーターの中は機械化されており、運ばれたもみは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 荷受け 2. 乾燥 3. 貯蔵 (…) 4. 玄米にして袋づめの順で、流れていきます。袋詰めされた玄米は、トラックで出荷されます。 	
76-77	図 地図	変更 削除 補足	<p>資料イ「米がとどくまで」は、「1. 流通経路」と「2. 南魚沼からの輸送」に分け、タイトルを追加した。</p> <p>「流通経路」は、色別に4つに分けて箇条書きにした。</p> <p>「南魚沼からの輸送」は、地図を削除し、次のように文章化した。</p> <p>高速道路や国道を通して、トラックで、東京や京都、札幌、福岡などに運ばれます。</p>	理解のしやすさ	
5年	77	図	変更 削除	<p>資料ウ「コメの値段にふくまれる費用の例」は、説明のみを箇条書きにした。</p>	理解のしやすさ
5年	78	グラフ	変更	<p>資料ア「新潟県での、10アール当たりの米の生産量の変化」は、点図化した。また、「資料イ」のグラフと見開きにし、比較しやすいようにした。</p>	触覚による把握
	78	グラフ	変更	<p>資料イ「米づくりの作業時間の変化」は、総時間のみを点図化し、作業別の時間を数表化した。</p>	理解のしやすさ 触覚による把握
	78-79	自分で 調べて 考える	変更 補足	<p>「自分の力で資料を読み取ってみよう」は、活動の流れ、思考の流れに合わせて以下の順に構成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート：資料を読み取るための視点・課題を明らかにするために最初に移動した。ノートの見出しに「資料から分かったこと」を追加した。 ・ヒント、各ヒントに関連する資料を続けて配置した。 ・キーワード、解説は、資料の後に配置した。 	理解のしやすさ 指導者による補足
	78	図	変更	<p>資料エ「新しい品種ができるまで」は点図化した。</p>	触覚による把握
	79	写真	補足	<p>資料オ「昔の田植え」に次のように説明を加えた。</p> <p>たくさんの人が協力して手作業で田植えをしている。</p>	理解のしやすさ

79	グラフ	変更	資料ク「主な農業機械の広まり」は、点図化した。	触覚による把握
79	図	変更 補足	資料コ「用水路や排水路のしくみ」は、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>水田の地下には用水路のパイプが埋められています。その用水路は、川の水をひく太いパイプにつながっており、各水田のパイプの入り口にはバルブがあります。また、各水田には排水口があり、外の排水路につながっています。</p> </div>	理解のしやすさ
80	ノート	変更 補足	各ノートの欄外に、参考にした資料を記載した。	理解のしやすさ 指導者による補足
80	図	変更	資料ス「全国で多く作付されている米の品種」は、「その他」の項目を追加し、数表化した。(作付け量の多い順)	理解のしやすさ
81	コラム 写真	変更	「主な農業機械」は、写真の位置に合わせて移動した。	理解のしやすさ
81	写真	変更 補足	資料ケ「耕地整理を行った水田」の説明を次のように補足・変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>整理前の水田はあぜをはさんで4枚の水田に分かれています。整理ずみの水田は、水田をつなげて…</p> </div>	理解のしやすさ
82	ふきだし	補足	さくら 「アの資料で米の」を加えて変更した。	理解のしやすさ
82	グラフ	変更	資料ア「米の生産量と消費量の変化」は、「米の生産量の変化」と「米の消費量の変化」の2枚に分けて点図化した。 10年ごとのデータに精選し、2枚を見開きにして比較しやすいようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
83	グラフ	変更	資料ウ「米の作付面積の変化」は、点図化した。「資料エ」のグラフと見開きにし、比較しやすいようにした。「資料エ」のグラフに合わせ、10年ごとのデータに精選した。	理解のしやすさ 触覚による把握
83	グラフ	変更	資料エ「農業で働く人の数の変化」は、点図化(総数)、および数表化(年代別)した。	理解のしやすさ 触覚による把握
84	やってみよう	変更 補足	まとめの図をノートとし、箇条書きにした。 ふきだしは、次のように一部を変更した。 「それぞれの課題について分けて整理すると、・・・分かりやすくなるね。」	理解のしやすさ

	85	グラフ	変更	資料オ「農家の規模と生産にかかる費用との関係」は数表化した。	理解のしやすさ
	86	表	変更 追加	「米づくりのくふうや努力, 変化の様子を整理しよう。」は, 次のように項目ごとに箇条書きにした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 水田の広さや形 ア. 昔→今 小さく入り組んだ形→広く四角い土地 イ. 関係する人々のくふうや努力 耕地整理を進めた。</p> <p>2. 作業時間 ア. 昔→今 10a 当たり・・・(1960年) → 25時間ぐらい(2019年) イ. 関係する人々のくふうや努力 さまざまな・・・。 水路を整備して, ……。</p> <p>3. 農薬や肥料 ア. 昔→今 化学肥料や・・・。 イ. 関係する人々のくふうや努力 健康によい・・・。 たい肥や・・・。</p> <p>4. 日本の米の生産量・消費量</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
5年	86	ふきだし	変更 補足	先生「整理する項目は」を追加した。	理解のしやすさ
5年	87	図	変更	「さまざまな見方から, 大切なことを考えよう。」は, ○▽□を1, 2, 3にして, 項目ごとに表した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	87	ふきだし	変更	先生のふきだしを次のように変更した。 「『…が大切だと思う。なぜなら…。』という言葉を使って, ノートに文章を書き表しましょう。」	理解のしやすさ
	88	写真	変更 補足	資料ア「魚売り場で見かける水産物」は, 写真から読み取れる水産物名と産地を次のように列記した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生あゆ(和歌山県産), 真鯛(福岡県産・静岡県産), めばる(青森県産), 真がれい(北海道産), いさき(長崎県産), ぶり(鹿児島県産)</p> </div>	理解のしやすさ
	89	地図 絵	変更	資料エ「日本の主な漁港の水揚げ量と, 養殖のさかんなところ」は, 次のように4つに点図化, 数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握

			<p>①点図（地図）「日本近海の海流と主な漁港」 海流名、海の名前、寒流・暖流、主な漁港の位置を示した。（親潮、黒潮等の説明を含む）</p> <p>②表「日本の主な漁港の水あげ量と主な水産物」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な漁港</th> <th>水あげ量</th> <th>主な水産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路（北海道）</td> <td>12.4</td> <td>いわし、たら</td> </tr> <tr> <td>根室（北海道）</td> <td>4.7</td> <td>さんま</td> </tr> <tr> <td>紋別（北海道）</td> <td>5.7</td> <td>ほたて</td> </tr> <tr> <td>・・・</td> <td>・・・</td> <td>・・・</td> </tr> </tbody> </table> <p>③点図（地図）「養殖のさかんなところと養殖している水産物」 養殖がさかんなところの位置、水産物名を示した。</p>	主な漁港	水あげ量	主な水産物	釧路（北海道）	12.4	いわし、たら	根室（北海道）	4.7	さんま	紋別（北海道）	5.7	ほたて	・・・	・・・	・・・	
主な漁港	水あげ量	主な水産物																	
釧路（北海道）	12.4	いわし、たら																	
根室（北海道）	4.7	さんま																	
紋別（北海道）	5.7	ほたて																	
・・・	・・・	・・・																	
89	グラフ	変更	資料オ「都道府県別の水産物の生産量」は数表化した。	理解のしやすさ															
90	地図	変更 削除	資料ア「北海道根室市」は、日本全図を省略し、地域の地図のみ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握															
90	絵	削除	資料イ「さんま漁の様子」は、削除した。	指導者による補足（必要に応じて）															
91	写真	補足	資料ウ「漁に出る漁船」の説明に、次のような文章を補足して加えた。 「漁船には、探照灯（サーチライト）やたくさんの集魚灯がついています。」	理解のしやすさ															
91	図	変更 補足	資料エ「魚の群れをさがす機械」（ソナー）」は次のように文章化した。 超音波は、物に当たるとはね返る。超音波を発信・受信する機械は、漁船の底についており、漁場につくまで、しまっておく。画面で・・・確かめる。	理解のしやすさ															
91	図	変更	資料カ「根室港で水あげされる主な魚」は、次のような表にした。 4月～6月 さけ・ます 7月～10月中旬 サンマ 10月中旬～2月 たら	理解のしやすさ															
92	写真	補足	資料ア「根室港」に次の説明を補足した。 水揚げをする場所の近くに市場がある。	理解のしやすさ															

92	グラフ	変更	資料ウ「根室市の人たちがしている仕事」は、数表化した。	理解のしやすさ
92	図	変更	資料オ「せりでさんまにつけられた値段のちがいは、箇条書きにした。	理解のしやすさ
94-95	図	変更	資料「さんまがとどくまで」は、次のように項目立てて、文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">1日目</p> <p>午前4時～6時 水揚げ</p> <p>午前9時 せり</p> <p style="text-align: center;">• • • • •</p> </div>	理解のしやすさ
94	地図	変更 削除 補足	資料オ「根室のさんまを輸送する主な交通機関」は、点図化し、補足説明を加えた。 ①点図（地図）では、根室の位置、主な高速道路のみを示した。 ②輸送する交通機関と経路についての説明を次のようにまとめた。北海道外の都市名には都道府県名を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1.トラック 高速道路や国道を通過して、日本各地へ</p> <p>2.航空機 千歳～東京 千歳～東京～大阪 千歳～東京～福岡 千歳～福岡</p> <p>3.フェリー 小樽～敦賀（福井県） 小樽～舞鶴（京都府） 苫小牧～八戸（青森県） 苫小牧～大洗（茨城県）</p> </div>	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足（距離感 は示せていないので、補足 が必要)
95	グラフ	変更	資料カ「さんまの値段にふくまれている費用」は数表化した。	理解のしやすさ

	96	地図	変更	資料ウ「鹿児島県長島町」は、日本全図を省略し、地域の地図のみを点図化した。	理解のしやすさ													
	96	グラフ	変更	資料エ「養殖ぶりの都道府県別の生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ													
	96	図	変更	資料オ「成長度によって名前が変わる『出世魚』」は、文章化した。	理解のしやすさ													
	97	図	変更	資料ク「漁港で行われるぶり養殖の一日の仕事」は、「1. ぶりの出荷」と「2. ぶりの育成」に分けて、文章化した。	理解のしやすさ													
	98	グラフ	変更	資料ア「さんまの生産量の変化」は、点図化した。イと見開きにし、比較しやすくした。	理解のしやすさ													
	98	グラフ	変更	資料イ「養殖ぶりの生産量の変化」は、点図化した。	理解のしやすさ													
	98	図	変更	資料ウ「さんまの群れのおおまかな移動経路」は、点図化した。	理解のしやすさ													
	98	グラフ	変更	資料エ「日本の漁業生産量と水産物輸入量の変化」は、点図化した。	触覚による把握													
5年	99	地図	変更	資料カ「根室市と北方領土の島々」は、点図化した。	触覚による把握													
5年	100	グラフ	変更	資料ア「世界の水産物の消費量の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ													
	100	地図	変更	資料ウ「200海里水域と日本の漁業の生産量」は、「日本と世界の200海里水域」と「漁場別にみた日本漁業の生産量と主な水産物」の二つに分けて点図化した。 「漁場別にみた日本漁業の生産量と主な水産物」の点図には海洋名と生産量を入れた。 また、「主な水産物と漁場」は次のような表にした。 <table border="1" data-bbox="555 1541 1102 1883"> <thead> <tr> <th>漁場</th> <th>水産物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北大西洋</td> <td>まぐろなど</td> </tr> <tr> <td>南大西洋</td> <td>まぐろなど</td> </tr> <tr> <td>インド洋</td> <td>まぐろ、かつおなど</td> </tr> <tr> <td>南太平洋</td> <td>まぐろ、かれいなど</td> </tr> <tr> <td>北太平洋</td> <td>かつお、まぐろなど</td> </tr> <tr> <td>日本近海</td> <td>いわし、さばなど</td> </tr> </tbody> </table>	漁場	水産物	北大西洋	まぐろなど	南大西洋	まぐろなど	インド洋	まぐろ、かつおなど	南太平洋	まぐろ、かれいなど	北太平洋	かつお、まぐろなど	日本近海	いわし、さばなど
漁場	水産物																	
北大西洋	まぐろなど																	
南大西洋	まぐろなど																	
インド洋	まぐろ、かつおなど																	
南太平洋	まぐろ、かれいなど																	
北太平洋	かつお、まぐろなど																	
日本近海	いわし、さばなど																	
	101	写真	補足	資料エ「国際的な団体がみとめた水産物の表示」は、写真から読み取れる内容を次のように説明に加えた。	理解のしやすさ													

			海のエコラベル 持続可能な漁業で獲られた水産物 MSC認証	
101	絵	補足	資料オ「水産資源を守るくふう」は、次のように文章化した。 網の目を広げて、あみの目に引っかかる大きな魚だけをとり、あみの目に引っかからない小さい魚はとらない。	
101	地図	変更	資料カ「養殖業のさかんな地域と水産資源を守り育てるための研究所」は、次の二つに分けて点図化及び文章化した。 ①「養殖業のさかんな地域」は点図化し、主な養殖地の位置を示した。養殖されている水産物は、次のように表にした。 北海道 ほたて、こんぶ類 青森県 ほたて（陸奥湾） 岩手県 わかめ ②「水産資源を守り育てるための研究所」は、主なさいばい漁業や養殖技術の研究所がある都道府県名を列記した。	理解のしやすさ 触覚による把握

102-103	まとめる	変更	「カードをならべる」を「カードを整理する」に変更した。 また、カードやタブレットのまとめには、適宜、番号や記号を付け加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足（個々の実態合わせて、分類や整理の仕方を工夫する） 活動の変更
103	SDG's	変更	「SDG'sとつなげて考えよう」は、次のように表記した。 14 海の豊かさを守ろう ミゲル 「世界全体で・・・。」	理解のしやすさ 指導者の補足
105	地図	変更 削除	資料イ「宮城県気仙沼市と大川」は、日本全図を省略し、地域の地図のみを点図化した。	触覚による把握
106	グラフ	変更	資料ウ「藍住町周辺（徳島県）の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
106	図	変更	資料エ「にんじんづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ

	106	グラフ	変更	資料オ「春にんじんの都道府県別生産量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	107	グラフ	変更	資料ク「高知市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	107	図	変更	資料ケ「なすづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ
	107	地図	変更 削除	資料コ「各地へ運ばれる野菜」は、地図を削除し、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">高知から、主に東京や大阪などの大きな消費地へ、トラックで運びます。</div>	理解のしやすさ 指導者による補足（原典教科書94ページの地図を必要に応じて活用）
	108	グラフ	変更	資料イ「岩手町盛岡市好摩周辺の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	109	図	変更	資料カ「キャベツづくりカレンダー」は、文章化した。	理解のしやすさ
	110	グラフ	変更	資料ア「甲州市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	110	図	変更	資料エ「ぶどうづくりカレンダー」は、1.デラウエア, 2.巨峰, 3.甲州に分けて文章化した。	理解のしやすさ
	110	地図	変更	資料オ「山梨県甲州市」は、点図化し、主な道路・鉄道、農園、駅、文化館、ワインセンターを示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	111	図	変更	資料ク「あか牛の飼育・出荷の流れ」は、文章化した。	理解のしやすさ
5年	111	グラフ	変更	資料ケ「阿蘇市の気温と降水量」は、点図化した。	触覚による把握
	111	グラフ	変更	資料コ「国内で使われる飼料の量」は、数表化した。	理解のしやすさ
	112	グラフ	変更 削除	資料ア「さまざまな食料の輸入の割合」は、グラフを削除し、数表化した。資料に関係するふきだしを資料に合わせて移動した。	理解のしやすさ
	112	グラフ	変更	資料イ「日本と外国の食料自給率」は、数表化した。	理解のしやすさ
	112	地図	変更 削除	資料ウ「日本が食料を輸入している主な相手先」は、地図を削除し、輸入している食料を国ごとに表にした。（国名は五十音順）	理解のしやすさ
	113	グラフ	変更	資料エ「主な食料の生産量の変化」、資料オ「主な食料の自給率の変化」は、「米、肉類、小麦」と「野菜、魚・貝類、果物」に分けてそれぞれ2枚の点図にした。データは10年ごとに精選した。「資料エ」、「資料オ」を見開きし、比較しやすいようにした。	理解のしやすさ 触覚による把握
	114	グラフ	変更	資料ア「国産と外国産の食料の値段」は、数表化した。	理解のしやすさ
	115	やってみよう	変更	表の項目ごとに、数字・記号を付加し、簡条書きにした。	理解のしやすさ

	116	資料	変更	<p>「やってみよう」の活動を進めるための資料を次のように整理した。</p> <p>タイトル「おいしく、安心して食べられる食料を生産する」</p> <p>1. 国内の生産を続ける・増やすために</p> <p>2. 国産の消費を増やすために</p>	理解のしやすさ
	118	学びの てびき	変更 補足	<p>「ふせんやカード」を「カード」に変更した。</p> <p>②を次のように変更・補足した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなが書いたカードをそれぞれの立場ごとに、すぐできること、時間をかけてできることに分ける。それぞれのカードをどこに分類するかは、話し合いながら決めていく。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者の補足
	118	図 (スク リー ン)	変更	項目ごとに整理して、番号・記号を付加し、箇条書きにした。	理解のしやすさ
	119	SDG's	変更	<p>「SDG'sとつなげて考えよう」は、次のように表記した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 2 つくる責任 つかう責任 あおい 「世界では・・・。」</p> </div>	理解のしやすさ 指導者の補足
	120	地図 説明	変更 削除	資料ア「大阪府が認証した『なにわの伝統野菜』」は、地図を削除し、表にした。(都市の五十音順) くわいの説明は、最後に移動した。	理解のしやすさ
	121	地図	変更 削除	資料エ「兵庫県明石市」は、日本全図を省略し、地域の地図のみを点図化した。	触覚による把握
5年	122	絵	削除 追加	<p>資料ア「さまざまな工業製品がある台所の様子」は、絵を削除して、次のように描かれているものを列挙した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>冷蔵庫、炊飯器、鍋、電気湯沸かし器、携帯端末、玉杓子、ストレーナー、フライ返し、ガスコンロ、食器用洗剤、コップ、皿、フォーク、スプーンキッチンカウンター、蛇口、流し、計量カップ、ボウル、箸、包丁、まな板、布巾、食品用ラッピングフィルム、食器棚、床板、壁、洋服、スリッパ、加工食品など</p> </div>	理解のしやすさ

		絵	削除 変更	資料イ「人々の役に立つものをつくり出す工業」は、 絵を削除し、次のように文章化した。 鉄鉱石や原油などの資源を加工して〇〇や△△、鋼材などにし、それをさらに加工して洗濯槽やモーター、ホースなどを作り、それらを組み立てて洗濯機になる。	理解のしやすさ
	123	写真	削除 追加	資料ク「街の中で見かける工業製品」は、写真を削除し補足説明を表記した。 (出版社確認後補足説明を加える)	理解のしやすさ 指導者による補足 出版社確認中。
		グラフ	変更	資料ケ「日本で生産されている工業製品の種類」は数表化した。	理解のしやすさ
	123-124	写真	削除	資料イ、ウ、エの写真は削除した。	指導者による補足
	124	グラフ	変更	資料ク「日本の自動車の生産台数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	125	グラフ	変更	資料ケ「世界の常用車生産台数にしめる、国ごとの割合」数表化した。	理解のしやすさ
	126	地図	削除 説明	資料イ「日本の主な自動車工場の位置」の地図は削除し、主な自動車工場で示されている場所を記載した。	理解のしやすさ
	127	図	削除 変更	資料ウ「自動車工場の配置図」の図は削除し、枠内の記載と工場内にある施設を羅列した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	131	図	削除 追加	資料カ「一日のスケジュール」は、図を削除し、朝・夜からの勤務の時間、食事の時間、休憩の回数についての説明を追加した。	理解のしやすさ
	132	図	削除 変更	「シートがとどくまで」の流れの図は、次のように文章化した。 自動車工場から注文を受け、溶接・組み立て→検査→出荷→組み立て工場のライン	
5年	132	図	削除 変更	資料エ「シート工場の位置」は図を削除し、次のように文章化した。 シート工場は、自動車工場の近くににあります。	理解のしやすさ 指導者による補足

	133	図	削除 変更	資料カ「自動車工場と関連工場の結びつき」の絵を削除し、自動車工場、第一次関連工場、第二次関連工場、第三次関連工場の流れがわかるように、言葉だけで点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	135	絵図	削除 追加	資料ウ「自動車を運ぶ専用船」は絵を削除し、専用船の長さとおさを説明に追記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	削除 追加	資料ク「自動車の輸送の様子（福岡県苅田町の工場の場合）」は地図を削除し、船の航路、キャリアカーだけで運ぶ地域のそれぞれの都市名・地方名を表記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	137-139	自分で 調べて 考える	変更 補足	「自分の力で、資料を読み取ってみよう！」は、活動の流れ、思考の流れに合わせて以下の順に構成した。 ・ノート：資料を読み取るための視点・課題を明らかにするために最初に移動した。ノートの見出しに「資料からわかったこと」「考えたこと」を追加した。 ・ポイント、ヒント：関連するノートに続けて配置した。 ・資料：P137の資料は「安全運転を支える自動車」と見出しをつけた。 ・キーワード、解説は「自分で調べて考える」の後に配置し、「ニーズ」（P137）と「ユニバーサルデザイン」（P138）をP140の本文の後に記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	140	自分で 調べて 考える	変更	ノートの後に「参考にした資料」として根拠となる資料を記した。	理解のしやすさ
5年	141	本文 絵図	変更	「ふせんに書いて」を「ノートに箇条書きにして」として活動内容の表現を変更し、ふせんで示されているものを箇条書きにした。	理解のしやすさ 活動の変更
	141	吹き出し	変更	ゆうまの吹き出しの内容を次のようにし、活動内容の表現を変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">特に印象に残ったことを抜き出して書いてみると、考えやすくなるね。</div>	理解のしやすさ
	142	グラフ	変更	資料イ「世界の鉄鋼生産量にしめる、国ごとの割合」は数表化した。	理解のしやすさ
		地図	削除 変更	資料ウ「日本各地の製鉄所」は点図化した。	理解のしやすさ

143	絵	削除 追加	資料カ「鉄ができるまで」は絵を削除し、絵は言葉で点図化し、説明を加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足
144	図	変更	資料イ「世界の石油消費量に占める国ごとの割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	削除 追加	資料ウ「日本各地の製油所、石油化学コンビナート」の地図は削除し、それぞれの場所を表記した。	理解のしやすさ
145	絵図	削除 変更	絵図「石油の加工の流れ」は絵を削除し、次のように文章化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 出版社確認中
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 原油の輸入 2. 加熱炉 原油をあたためる 3. 蒸留塔（製油所） 石油製品のLPガス、ガソリン、ナフサ、ジェット燃料、灯油、軽油、重油、アスファルトが作られます。 4. ナフサ分解工場（製油所） 原料となるプラスチック、合成せいの原料、合成ゴム、塗料の原料、洗剤などの原料、その他が作られます。 5. 製品を作る工場 ビニール袋やプラスチック容器、服、タイヤ、ペンキ、洗剤などのさまざまな工業製品が作られます。 	
146	絵図 写真	削除 変更	資料ア「日本の自動車の主な輸出先」の地図と「自動車専用船」の写真は削除し、輸出先の国名、台数を表にした。	理解のしやすさ 指導者による補足
147	グラフ	変更	資料エ「国内で使う原油に占める輸入の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
148-149	自分で調べて考える	変更 補足	活動の流れ、思考の流れに合わせて以下の順に構成した。 ・ノート：資料を読み取るための視点・課題を明らかにするために最初に移動した。ノートの見出しに「資料からわかったこと」「考えたこと」を追加した。 ・ヒント：関連する内容のところに配置した。 ・資料	理解のしやすさ
148	絵図	削除 変更	資料ア「主な輸出品の輸出相手先」の地図は削除し、輸出品、輸出先の国名、輸出額を表にした。	理解のしやすさ

		グラフ	変更	資料イ「日本の主な輸出品の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 追加	資料ウ「IC（集積回路）」の写真は削除し、ICの大きさについての説明を加えた。	理解のしやすさ 指導者による補足
	149	絵図	削除 変更	資料エ「主な輸入品の輸入相手先」の地図は削除し、国名、輸入品、輸入額を数表化した。	理解のしやすさ
		グラフ	変更	資料オ「日本の主な輸入品の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
5年	150	自分で調べて考える	変更	ノートの後に「参考にした資料」として根拠となる資料を記した。	理解のしやすさ
	151	自分で調べて考える	追加	ノートの見出しに「資料からわかったこと」を追加した。	理解のしやすさ
	151	グラフ	変更	資料ア「主な燃料や原料の輸入の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
		絵図	変更	資料ウ「輸入から輸出まで」は、絵図は削除し、以下のよう に文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">鉄鉱石や部品などを輸入し、自動車や鉄鋼などを生産して輸出しています。</div>	理解のしやすさ
		グラフ	変更	資料エ「主な工業製品の輸出の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	152	自分で調べて考える	変更	ノートや吹き出しの後に「参考にした資料」として根拠となる資料を記した。	理解のしやすさ
	153	グラフ	変更	資料ア「港・空港別の貿易額」は、数表化した。	理解のしやすさ
	154	自分で調べて考える	変更	ノートの後に「参考にした資料」として根拠となる資料を記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	154	表	変更	表中の記号は、◎を二重丸、○を丸、△を三角、×をバツとして表記した。	理解のしやすさ
	155	本文	変更	「ふせん」を「カード」に変更し、活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ
	156	地図 写真	変更 削除 追加	資料ア「身近な工業製品やこれまでに学習した工業製品の産地を整理した地図の例」は、「身近な工業製品やこれまでに学習した工業製品の産地を整理した例」に変更	理解のしやすさ 指導者による補足

			し、地図や写真は削除した。産地で国内と外国に分け、それぞれ産地と工業製品を記載した。	
	写真	削除	資料イ「工業製品の外箱に示されている産地」は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	やってみよう	変更	「ふせん」は「カード」に統一したり、白地図は用いずに産地で整理したりするなど、活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ 指導者による補足
157	絵	削除	資料ウ「工業の種類」の絵は削除し、工業ごとに描かれているものを列挙した。	理解のしやすさ
	グラフ	変更	資料エ「国内の工業生産額の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
158	グラフ	変更	資料ア「工業地帯・工業地域別の工業生産額」は、総額のみ点図化、他は地帯・地域ごとに数表化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
158	地図	変更	資料イ「工業のさかんな地域や都市」は点図化し、工業のさかんな地域とその他のおもな工業都市のそれぞれについて、まとめて記した。	触覚による把握 理解のしやすさ
160	グラフ	変更	資料ウ「日本の工業生産に力める中小工場と大工場の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
	グラフ	変更	資料エ「各工業の生産額に力める中小工場と大工場の割合」は数表化した。	理解のしやすさ
161	地図	削除 追加	資料キ「工業が多く集まる地域」は地図を削除し、都市名等を羅列した。	理解のしやすさ
162	グラフ	変更	資料ア「主な電化製品の国内生産台数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	グラフ	変更	資料イ「国内の工場数と、工場で働く人の数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	グラフ	変更	資料ウ「外国にある日本の会社の数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
163	本文	変更	「ふせん」を「カード」に変更し、活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
164	グラフ	変更	資料ア「日本の自動車の国内生産台数と海外生産台数の変化」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
165	地図	削除 追加	資料ウ「世界に広がる日本の自動車会社の工場と、各地域での生産台数」は、地図を削除し、6地域別の国名と生産台数を表にした。	理解のしやすさ

	166	地図	変更	資料オ「大阪府東大阪市」は、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	167	写真	削除 追加	資料ク「海底の光ファイバーを守る鉄線」は写真は削除し、原典の説明の後、以下の説明を追加した。 光ファイバーケーブルのまわりは、3本の鉄線が組み合わさって保護されています。	理解のしやすさ
	170	本文 学びの てびき	変更	「ふせん」を「カード」に統一し、活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
	172	グラフ	変更	資料ア「日本のエネルギー消費量の割合の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
		図	変更	「自然・エネルギーについて考えるときの見方の例」は、箇条書きにし、土台となる「安全である」を1番に記した。	理解のしやすさ
5年	174	絵	変更 補足	資料ア「町の中で受け取る情報・あつかう情報」は、次のように文章化した。 駅前前の街の様子です。 駅には、切符やICカードを使って、改札機を通っている人がいます。駅の建物の壁には、駅の番号や駅名が表示されています。また、時計や、看板（〇〇コーヒー、→70m）、非常口の表示もあります。駅前前の道路には、点字ブロックが敷かれています。 駅前前の広場には、バス停（駅名や時刻表の表示）、公衆電話ボックス、今月のイベントやタウンマップの掲示板、時計、気温を表示するものがあります。止まっているバスには、大通り病院と表示されています。ベンチに座ってスマートフォンを見ている人、タブレットを見せながら外国人と話をしている人、タウンマップのQRコードにスマートフォンをかざしている人がいます。 駐車場には、身体障害者マークの表示があり、近くのビルの屋上には、看板（駅から2分の英会話）があります。宅配便の荷物を配達している人もいます。 スーパーマーケットには「新装開店」「セール」などの表示があり、店の中では、お客さんが、スマートフォンをレジにかざしています。	理解のしやすさ 指導者による補足

174	絵	変更 補足	<p>資料イ「家の中で受け取る情報・あつかう情報」は、次のように文章化した。</p> <div data-bbox="555 282 1098 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家のリビングルームで、家族（父母兄妹）がくつろいでいます。</p> <p>お母さんは、テレビのリモコンを持っています。お父さんは、タブレット端末を見ています。兄は携帯電話で話をしています。妹は本を読んでいます。</p> <p>部屋の壁には、カレンダーや時計がかかっており、テレビ、ラジオ、ファックスがあります。テーブルの上には、新聞や雑誌、スマートスピーカーなどが置いてあります。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
175	学びの てびき	変更	<p>タイトルを「身のまわりにある情報を見つけ、自分と情報とのつながりをみつける」に変更し、「活動」の一部を変更する。</p> <div data-bbox="555 880 1098 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. 「表に整理する」→「項目に分けて、整理する」に修正。</p> <p>3. 「イラストから見つけた」→「ノートに書いた」、「よく見かけたり」→「身のまわりにあたり」、「○を付ける」→「シールなどでしるしを付ける」に修正。</p> <p>4. 「イラストから見つけたことをもとに」を削除。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 活動の変更
176	学びの てびき	変更	<p>「紙にかいた表にシールをはって」を「項目ごとにシールをはって」に変更した。</p> <p>「アンケート作成ソフトを使う」という活動を残しているので、指導者による補足説明が必要である。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足 活動の変更
176	図	変更	資料イ「ニュースを得るときに利用するメディア」は数表化した。	理解のしやすさ
177	図	変更	<p>資料ウ「テレビ放送がとどくしくみ」を次のように文章化した。</p> <div data-bbox="555 1615 1098 1980" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 放送局が発信した電波は、電波塔や中継局を経て、家のアンテナにとどく。 2. 放送局が発信した電波は、直接ケーブルテレビ局のアンテナにとどいたり、電波塔を経て、ケーブルテレビ局のアンテナにとどいたりする。そして、ケーブルテレビ局からケーブルを通して家へ送信される。 3. 1または2のようにして、家に届いたテレビ放送を、テレビや、パソコン、スマートフォンなどで見るができる。 </div>	理解のしやすさ

177	グラフ	変更	資料オ「テレビの1週間の放送内容」を数表化した。	理解のしやすさ
179	写真 図	追加	資料ア〜キに、「ニュース番組ができるまで」のタイトルを追加した。	理解のしやすさ
180-181	図 写真	変更 補足	資料ア「ある日のニュース番組が放送されるまで」を、1. 取材記者, 2. 編集・制作, 3. アナウンサーに分けて, 文章化した。	理解のしやすさ
183	図	変更 補足	資料エ「テレビ放送の情報から受けるえいきょうの例」は、状況の説明を補足して文章化した。	理解のしやすさ
184	グラフ	変更	資料ア「情報通信機器を持っている家庭の割合の変化」を点図化した。	触覚による把握
185	図	変更 補足	資料ウ「情報を伝えるさまざまなメディア」は、文章化し、一部説明を加えた。	理解のしやすさ
188-189	図 写真	変更 補足	資料ア「新聞の朝刊がとどくまで」を、1. 編集局の記者たち, 2. 編集局のデスク・編集センター, 3. 製作センター（印刷工場）に分けて、文章化した。	理解のしやすさ
190	図	変更	資料エ「インターネットショッピング」は、文章化した。	理解のしやすさ
191	グラフ	変更	資料オ「電子マネーでの支払の回数の変化」、資料カ「インターネットショッピングの売り上げ額の変化」は、データを2年ごとに精選し、点図化した。点図は見開きにし、比較しやすいようにした。	触覚による把握
192	図 写真	変更 補足	資料ア「店のPOSシステム」は、文章化した。	理解のしやすさ
193	図	変更 補足	資料イ「チェーン店と本部や物流センターとのつながり」は、文章化した。	理解のしやすさ
194	図 写真	変更 補足 追加	資料ア「ある店の仕入れの数の変化の例」は、文章化した。二つの表には、タイトル「データ活用前と活用後の仕入れ数の変化」を追加した。	理解のしやすさ
195	図	変更 補足	資料ウ「ポイントカードの利用によって集まり、生かされる情報」は、文章化した。 おすすめ商品のお知らせも、内容が分かるように文章化した。	理解のしやすさ
196	図 写真	変更 補足	資料ア「感染症対策を行う店」は、「消費者のニーズや社会の課題→インターネット注文できるサービス」のタイトルをつけ、文章化した。	理解のしやすさ

			また、写真の状況が理解しやすいように、説明を加えた。	
196	図	変更 補足	資料イ「インターネットで注文できるサービス」は、文章化した。	理解のしやすさ
198	グラフ	変更	資料イ「情報サービスに関する仕事につく人の数の変化」は、2年ごとのデータに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
198	グラフ	変更	資料ウ「インターネットで世界中を流れる情報量の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
199	やってみよう	変更	本文の流れに合わせて移動した。	理解のしやすさ
199	図	変更 補足	資料オ「情報通信技術を利用するなかで不安に感じることの例」は、状況の説明を補足して文章化した。	理解のしやすさ
200	まとめる	変更 補足	先生の言葉を一部変更し、「項目ごとにまとめたり、カードに書いたりするなど・・・」とした。	理解のしやすさ 指導者による補足（個々の実態に合わせた、学習の整理の仕方）
202	グラフ	変更	資料ア「日本をおとずれる外国人観光客数の変化」は、データを2年ごとに精選し、点図化した。	触覚による把握
202	グラフ	変更	資料イ「外国人観光客が日本での旅行中にこまったこと」は、数表化した。	理解のしやすさ
203	図	変更 補足	資料オ「観光旅行を通して集まり、生かされる情報」は、1. 観光に関わる人たち、2. 観光客に提供する情報、3. インターネットサービス会社に分けて、文章化した。	理解のしやすさ
204	図	変更 補足	資料ア「病院の中をつなぐ情報ネットワーク」は、補足説明を加え、文章化した。	理解のしやすさ
204	図	変更	資料イ「佐賀県の医療情報ネットワークの広がり」は、文章化した。	理解のしやすさ
205	図	変更 補足	資料ウ「佐賀県内の医療施設どうしのつながり」は、文章化した。	理解のしやすさ
205	地図	変更	資料エ「佐賀県内の医療情報ネットワークを利用する施設」は点図化し、施設の区別をせずに位置のみを示した。	触覚による把握

	205	グラフ	変更	資料オ「一人でくらす高齢者の人口の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
	205	図	変更	資料カ「高齢者を見守る情報通信技術の例」は、文章化した。	理解のしやすさ
	206	グラフ	変更	資料ア「トラックによる宅配便の取りあつかい個数の変化」は、データを2年ごとに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
	206	グラフ	変更	資料イ「トラックで荷物を運ぶ仕事についている人の数の変化」は、データを2年ごとに精選し、数表化した。	理解のしやすさ
	206	図 写真	変更 補足	資料ウ「注文から配達までの流れ」は、文章化した。	理解のしやすさ
	210	地図	変更 追加	琵琶湖周辺を境に、東北日本、西南日本の2枚の地図に分けて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
5年	211	学びの てびき	変更	学びのてびきの内容を「地図中の□に色をぬったりマークを書いたりして」を「場所を地図で確かめ」に、「地図上に表してみよう」を「地図で場所を確認してみよう」に変更した。	理解のしやすさ
	211	グラフ	変更	資料ケ「世界の自然災害の被害額にしめる各地域の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	212	図	変更	資料ウ「国の調査による、地震の予測」は、26%以上の地域を塗り、点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	213	図	変更	資料オ「日本で発生した大きな自然災害」は、地震・津波、台風・大雨、その他のそれぞれで表にした。	理解のしやすさ
	215	地図	変更	資料オ「岩手県宮古市田老地区」は、サーモフォームにて、海岸線、防潮堤、50mの等高線を境に立体化した。	触覚による把握
		絵図	削除 変更	資料カ「自然災害に強い街づくりの例」は、絵を削除し、箇条書きで示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	216-219	自分で 調べて 考える	変更 補足	「自分の力で、資料を読み取ってみよう！」は、活動の流れ、思考の流れに合わせて以下の順に構成した。 ・自分の力で、資料を読み取ってみよう！ ・ポイント ・災害の種類ごとに、対策を調べていこう。 ・表 ・ヒント：関連する内容の所へ配置した。	理解のしやすさ 指導者による補足

			・資料		
	216	地図	変更	資料ア「日本の国土とプレート」は点図化した。	触覚による把握
		グラフ	変更	資料イ「非常にはげしい雨の発生回数」は数表化した。	理解のしやすさ
	217	地図 絵図	削除 変更	資料エ「緊急地震速報のしくみ」の地図と絵図は削除し、7地方ごとに地震計の数を数表化し、「地震が起きる」は模式図を簡略化し点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		グラフ	変更	資料ウ「地震のゆれに強いつくりにした学校の数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	220	表	変更	表は、災害の種類別に、ア. 対策、イ. どこ（だれ）が、ウ. なんのために、をそれぞれ整理した。	理解のしやすさ
	221	表	変更	災害の種類別に、ア. 発生している場所、イ. 発生と関係がある、国土の特色、ウ. 対策（どこが、なんのために）をそれぞれ整理するようにした。 「表をたてに見て」は「表を見て、ア. 発生している場所、イ. 発生と関係がある、国土の特色、ウ. 対策（どこが、なんのために）ごとに考え」、「表を横に見て」は「表を見て、災害の種類別に考え」と変更した。	理解のしやすさ
	222	グラフ	変更	資料イ「日本の国土の土地利用の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
5年		グラフ	変更	資料ウ「世界各国の、国土に占める森林の割合」は、数表化した。	理解のしやすさ
	224-225	写真	削除 追加	「秋田県と青森県の境に広がる、白神山地の森林」の写真は削除し、タイトル「（2）日本の国土と森林2」を追加した。	理解のしやすさ
	226	地図	削除 追加	資料ウ「高知県における森林の広がり」は、日本地図を削除し、高知県の地図のみ点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
	227	絵図	削除 追加	資料オ「森林があると…」資料カ「森林がないと…」は、川の水、動物、山の様子、植林、余暇の場等に関して、対比できるようにそれぞれ簡条書きで記載した。	理解のしやすさ
	228	グラフ	変更	資料ウ「天然林と人工林の面積の割合」は数表化した。	理解のしやすさ

	229	木の 年令	変更	資料「木の年令」は、次のように変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1. 苗木を育てる（木の年令：0） 2. 植林（0～10） 3. 下草刈り・除伐（10～20） 4. 間伐（20～50） 5. 伐採，運搬（50～80） </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	変更	資料コ「林業で働く人の数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	230	グラフ	変更	資料ア「国内の木材使用量の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	232	グラフ	変更	資料ア「森林づくり活動をしている団体の数の変化」は点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	234	絵図	変更	ふせんを簡条書きに，活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ
	236	写真	削除 追加	資料ア「1960年ごろの北九州市の空と洞海湾」の写真は削除し，「海水が黄色に変色しています」と追記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	変更	資料ウ「福岡県北九州市」は点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	237	写真	削除 追加	資料オ「教室のまどわくをさわると…」の写真は削除し，「手がまっくろになっています。」を追記した。	理解のしやすさ
5年	240	グラフ	変更 追加	資料ア「洞海湾のさまざまな地点での水質の観測結果」は，アとエの2地点のグラフを点図化，4つの地点における1968年，1980年，2000年，2016年のデータを数表化した。説明に「洞海湾の奥から入り口に向かって，約5kmごとのア，イ，ウ，エの地点で観測しています。」と追記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	241	写真	削除 変更	資料オ「さまざまな工場が集まるエコタウン」の写真を削除し，家電製品を分解する施設，空きかんを処理する施設，蛍光管をくだく施設，ペットボトルをくだく施設，自動車を解体する施設を簡条書きにした。	理解のしやすさ
	243	絵図	変更	資料エ「自然環境とわたしたちのくらしとの結びつき」は絵図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		学びの てびき	変更	学びのてびきは，「自然との結びつきを関係図から読み取る」を「自然との結びつきを考える」に，①「エ	理解のしやすさ

				の中にある」を「身のまわりにある」に変更した。	
	244	学びの てびき	削除	②「矢印でつなぎ」「矢印の意味を」を削除し、活動内容の表現を変更した。	理解のしやすさ 活動の変更
5年	252-253	地図	変更	このページの世界地図は、次のように課題を提示し、かつ世界地図を変更した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><文章> 地図帳や地球儀で調べた国、ニュースなどで新たに知った国をノートに書き出そう。</p> <p><地図>大陸別の世界地図を作成し、教科書記述の国に限って国名を入れる。</p> <p>世界全図（南極）→ユーラシア（アジア<5区分図>→ヨーロッパ）→アフリカ→北アメリカ→南アメリカ→オーストラリア の順</p> <p>なお国名が入ることを優先とする。</p> </div>	理解のしやすさ 触覚による把握
	254-255	地図	削除 変更	このページの日本地図は表（リスト）にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総務省都道府県コードの順に、 「野菜（赤）」→「畜産（黄）」→「水産（青）」の順（各種類の中は地名の50音順）に掲載した。 （米は独立させている） ※地名のみ掲載している場所は削除した。</p> <p>1. 北海道 (1) 野菜 北見盆地 たまねぎ 十勝平野 じゃがいも・てんさい・だいこん… 平取 トマト… 参照ページは削除。</p> </div>	理解のしやすさ

256-257	地図	削除 変更	<p>このページの日本地図は表（リスト）にし、次のように記載した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 太平洋ベルト 以下の県が含まれる。○○地方…△△県、 ××県 …のように示す。</p> <p>B 工業地帯・工業地域 北から順に、ア. 北海道（道央）工業地域（北海道）…</p> <p>C 総務省都道府県コードの順に、都市名と主な工業製品の順（各種類の中は県庁所在地のあと、地名の50音順）に掲載する ※地名のみ掲載している場所は削除する。</p> <p>1. 北海道 札幌市 乳製品・ビール 旭川市 製紙・パルプ…</p> </div>	理解のしやすさ
---------	----	----------	---	---------

5年	258-259	地図	<p>このページの日本地図は表（リスト）にし、次のように記載した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総務省都道府県コードの順に、都市名と主な取り組みの順（各種類の中は県庁所在地のあと、地名の50音順）に掲載する。個数も示す。</p> <p>図の説明＝主な取り組み 略記</p> <p>世界遺産条約 <いさん> ラムサール条約 <ラム> ナショナルトラスト運動 <ナショナル> 環境未来都市 <みらい> 環境モデル <モデル></p> <p>1. 北海道</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア. いさん</td> <td>1件（しれとこ）</td> </tr> <tr> <td>イ. ラムサール</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>ウ. ナショナル</td> <td>1件（100平方メートル運動の森・トラスト）</td> </tr> <tr> <td>エ. みらい</td> <td>1件（下川町）</td> </tr> <tr> <td>オ. モデル</td> <td>3件（帯広市・下川町・ニセコ町）</td> </tr> </table> </div>	ア. いさん	1件（しれとこ）	イ. ラムサール	13件	ウ. ナショナル	1件（100平方メートル運動の森・トラスト）	エ. みらい	1件（下川町）	オ. モデル	3件（帯広市・下川町・ニセコ町）	理解のしやすさ
ア. いさん	1件（しれとこ）													
イ. ラムサール	13件													
ウ. ナショナル	1件（100平方メートル運動の森・トラスト）													
エ. みらい	1件（下川町）													
オ. モデル	3件（帯広市・下川町・ニセコ町）													